

## 死亡時未払年金受取人に関する特約条項

(2026年1月23日制定)

### (この特約の概要)

この特約は、主たる保険契約（以下「主契約」といいます。）の年金受取人と被保険者が同一人の場合において、被保険者が死亡したことより支払われる未払年金の現価の受取人として、被保険者の法定相続人以外の者を指定できることとするを主な内容とするものです。

### 第1条（特約の付加）

- (1) この特約は、主契約が次のいずれかである場合に、主契約に付加します。
  - ① 契約日が令和8年1月23日前である5年ごと利差配当付個人年金保険契約
  - ② 契約日が令和8年1月23日前である個人年金保険契約
- (2) 本条(1)の規定にかかわらず、令和8年1月23日において、本条(1)に定める主契約が失効している場合には、その後、主契約が復活するときに、この特約を主契約に付加します。

### 第2条（死亡時未払年金受取人の指定）

- (1) 主契約の普通保険約款（以下「主約款」といいます。）の規定にかかわらず、主契約の年金受取人と被保険者が同一人の場合において、年金支払開始日以後、年金支払期間(注1)中の最後の年金支払日前に被保険者が死亡したことにより支払われる未払年金の現価の受取人（以下「死亡時未払年金受取人」といいます。）は、次の①または②に該当する者としします。
  - ① 被保険者の死亡時の法定相続人
  - ② 前①にかかわらず、保険契約者が被保険者の同意を得て、当会社の定める取扱範囲内で1人の者を指定したときは、その者(注2)
- (2) 本条(1)の規定にかかわらず、故意に主契約の年金受取人を死亡させた者は、死亡時未払年金受取人としての取扱いを受けることができません。
- (3) 次の①～③に該当する場合には、本条(1)②の規定による死亡時未払年金受取人の指定はなかったものとして取り扱います。
  - ① 被保険者が死亡する前に、年金受取人が変更されたときまたは死亡時未払年金受取人の指定が撤回されたとき。
  - ② 本条(1)②の規定により指定された死亡時未払年金受取人(注2)が被保険者が死亡する前に死亡したとき(注3)。
  - ③ 本条(1)②の規定により指定された死亡時未払年金受取人(注2)が本条(2)に該当したとき。

(注1) 主契約の年金の種類が保証期間付終身年金の場合は、保証期間とします。

(注2) 死亡時未払年金受取人が変更された場合には、変更後の死亡時未払年金受取人とします。

(注3) 被保険者が死亡した時と死亡時未払年金受取人が死亡した時の先後が明らかでないときは、死亡時未払年金受取人が先に死亡したものとします。

### 第3条（死亡時未払年金受取人による未払年金の現価の請求）

- (1) 主契約の年金受取人と被保険者が同一人の場合において、年金支払開始日以後、未払年金の現価を支払う事由が生じたときは、保険契約者または死亡時未払年金受取人は、すみやかに当会社に通知してください。

- (2) 前条(1)の未払年金の現価を支払う事由が生じたときは、死亡時未払年金受取人は、主約款に定める書類を提出して、未払年金の現価を請求してください。
- (3) 主約款に定める年金の支払時期および支払場所に関する規定は、死亡時未払年金受取人に未払年金の現価を支払う場合に準用します。

#### 第4条（死亡時未払年金受取人の代表者）

- (1) 死亡時未払年金受取人が2人以上の場合には、代表者1人を定めてください。この場合、その代表者は、他の死亡時未払年金受取人を代理するものとします。
- (2) 本条(1)の代表者が定まらないとき、またはその所在が不明のときは、当会社が死亡時未払年金受取人の1人に対してした行為は、他の死亡時未払年金受取人に対しても効力を生じます。
- (3) 死亡時未払年金受取人が2人以上の場合には、その受取割合は均等とします。

#### 第5条（死亡時未払年金受取人の指定または変更等）

- (1) 保険契約者またはその承継人は、未払年金の現価を支払う事由が生じるまでは、被保険者の同意を得て、当会社に対する通知により、当会社の定める取扱範囲内で死亡時未払年金受取人を指定もしくは変更し、または死亡時未払年金受取人の指定を撤回することができます。ただし、死亡時未払年金受取人を指定または変更する場合、その指定された死亡時未払年金受取人または変更後の死亡時未払年金受取人は1人であることを必要とします。
- (2) 本条(1)の通知が当会社に到達する前に変更前の死亡時未払年金受取人(注1)に年金を支払ったときは、その支払い後に変更後の死亡時未払年金受取人(注2)からその年金の請求を受けても、当会社はこれを支払いません。
- (3) 死亡時未払年金受取人の指定、変更または指定の撤回をするときは、保険契約者またはその承継人は、当会社所定の書類(別表1)を提出してください。

(注1) 死亡時未払年金受取人が指定された場合は、被保険者の死亡時の法定相続人をいいます。また、死亡時未払年金受取人の指定が撤回された場合には、その指定が撤回される前の死亡時未払年金受取人をいいます。

(注2) 死亡時未払年金受取人が指定された場合は、その指定された死亡時未払年金受取人をいいます。また、死亡時未払年金受取人の指定が撤回された場合には、被保険者の死亡時の法定相続人をいいます。

#### 第6条（遺言による死亡時未払年金受取人の指定または変更等）

- (1) 前条に定めるほか、保険契約者は、未払年金の現価を支払う事由が生じるまでは、法律上有効な遺言により、当会社の定める取扱範囲内で死亡時未払年金受取人を指定もしくは変更し、または死亡時未払年金受取人の指定を撤回することができます。ただし、死亡時未払年金受取人を指定または変更する場合、その指定された死亡時未払年金受取人または変更後の死亡時未払年金受取人は1人であることを必要とします。
- (2) 本条(1)の死亡時未払年金受取人の指定、変更および指定の撤回は、被保険者の同意がなければ、その効力を生じません。
- (3) 本条(1)および(2)による死亡時未払年金受取人の指定、変更および指定の撤回は、保険契約者が死亡した後、保険契約者の相続人が当会社に通知しなければ、これを当会社に対抗することができません。
- (4) 遺言による死亡時未払年金受取人の指定、変更または指定の撤回をするときは、当会社所定の書類(別表1)を提出してください。

第7条（特約の解約）

この特約のみの解約は、取り扱いません。

第8条（主約款の規定の準用）

この特約に別段の定めのないときは、主約款を準用します。

別表1 請求書類

項目	提出書類
死亡時未払年金受取人の指定、変更および指定の撤回（遺言による指定、変更および指定の撤回を含みます。）	(1) 当会社所定の名義変更請求書 (2) 保険契約者の印鑑証明書（遺言による変更の場合は、遺言書（写）） (3) 保険証券（年金支払開始日以後は年金証書）
（注） 当会社は、上記以外の書類の提出を求め、または上記の提出書類の一部の省略を認めることがあります。	